

事務事業チェックシート

事務事業No 496 事業名 里道等維持修繕事業

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	1	道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
基本方針	2	道路・橋梁・トンネルの適正管理

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	永年
事業実施の根拠法令	地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律（地方分権一括法）全般		
関連個別計画			
担当課・担当課長（Tel）	認定外道路管理課	山口 正則	435-1086
関連課	道路管理課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		道路橋梁費	
	目		道路維持費	
	大事業		道路維持修繕事業	
事項		里道等維持修繕事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民生活に密接な法定外公共物（里道）の維持管理を行う。	道路法・河川法等の適用又は準用を受けない法定外公共物（里道）の維持管理に伴う、舗装・修繕等や草刈り及び樹木等の伐採処分を行っている。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		里道等のコンクリート舗装、道路壁修繕、草刈り及び樹木等の伐採処分	里道等のコンクリート舗装、道路壁修繕、草刈り及び樹木等の伐採処分	里道等のコンクリート舗装、道路壁修繕、草刈り及び樹木等の伐採処分	里道等のコンクリート舗装、道路壁修繕、草刈り及び樹木等の伐採処分	里道等のコンクリート舗装、道路壁修繕、草刈り及び樹木等の伐採処分

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	8,754	7,886	10,033	11,285	9,004		9,004		9,004		
	伸び率（%）	-	-	14.6%		-10.3%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	10,724	9,675	9,675	8,984	8,984		8,984		8,984	
		非常勤職員	703	602	602	61	61		61		61	
		小計	11,427	10,277	10,277		9,045		9,045		9,045	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
	一般財源（税等）	8,754	7,886	10,033		9,004		9,004		9,004		
所要人数	常勤職員	1.45	1.27	1.27	1.18	1.18		1.18		1.18		
	非常勤職員	0.33	0.29	0.29	0.03	0.29		0.29		0.29		
主な予算内訳		所々修繕料 5,404千円、樹木等処分委託料 4,629千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	要望受付件数					年度目標値				
						実績値	25	27		
	単位	件	全体目標値	-	全体目標達成度	-	年度別達成度			
						年度目標値				
						実績値				
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				
成果指標	修繕件数					年度目標値				
						実績値	25	27		
	単位	件	全体目標値	-	全体目標達成度	-	年度別達成度			
						年度目標値				
						実績値				
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	○ 見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>法定外公共物（里道）の管理については、市民の防災に対する意識が高まってきている中、避難路（里道）に対しての意識が強くなっている状況である。また近年の開発行為の増加に伴う影響で、通路等（里道）の維持管理及び修繕が増加の傾向にあるため、現状の体制では対応することが困難となることが予想される。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>改善案として、職員数の増員確保による体制の整備及び強化、並びに維持管理費等予算の増額による確保が必要となる。具体的に、何人増員と判断できないが現在の人員では困難であると考えられる。</p>